

合併後10年を迎えるに当たって

合併後の津市のまちづくり

平成18年1月1日に10の市町村(津市、久居市、河芸町、芸濃町、美里村、安濃町、香良洲町、一志町、白山町、美杉村)が合併し、新しい津市が誕生して、平成28年1月1日で10周年を迎えます。そこで、今回から10回にわたり毎月1日の広報津で、合併してからの津市のまちづくりについて振り返っていきます。

問い合わせ 地域政策課 ☎229-3277 FAX229-3330



ねえねえ、シロモチくん！今年は津市が合併して10年目になるね。



来年の1月1日でちょうど合併10年になるんだ。新しくなった津市は将来にわたってずっと発展し続けるまちになるために、これまでいろいろな取り組みを進めてきたんだよ。



詳しく教えてほしいな！



例えば、合併特例事業債という有利な財源を使って、市民の皆さんに必要な大きな事業を順調に進めてきているし、職員の削減や事務の合理化にも努めてきたんだ。税金もいろいろ工夫しながら大切に使用して、いざというときにも備えているんだよ。今まで進めてきた取り組みをいくつか紹介するね。



新「津市」開市式の様子
(平成18年1月1日)



津市本庁舎

一体的なまちづくりの推進

新しい津市にとって絶対に必要な施設は、4大プロジェクトと位置付けて、合併特例事業債など市の財政に有利な財源を使って整備を進めています。



新しい施設の整備やJR名松線の復旧が進んでるんだよ！



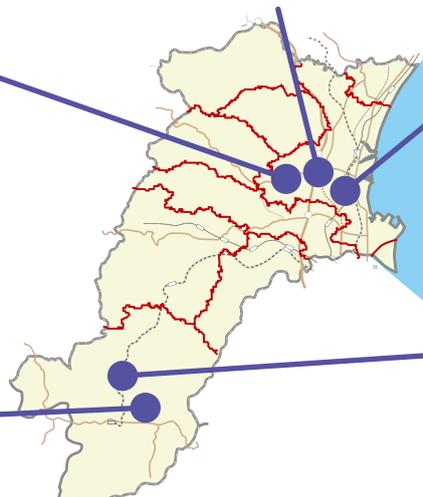
産業・スポーツセンターの整備



リサイクルセンターの整備



新最終処分場の整備



新斎場「いつくしみの杜」の整備
(平成27年1月2日供用開始)



JR名松線の復旧